

# 第 1 回 ステ ッ プ ア ッ プ 自 己 研 修 会

## 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

|         |   |           |     |    |    |        |
|---------|---|-----------|-----|----|----|--------|
| ●大会名    | 第73回 大阪高校バスケットボール選手権大会  |           |     |    |    |        |
| ●日程     | 令和2年11月3日 (火) ~   |           |     |    |    |        |
| ●会場     | ラクタブドーム   |           |     |    |    |        |
| ●講師     | 黒岡 和哲 様 湯浅 剛 様 茅野 修司 様<br>飯尾 勝紀 様 高野 晃平 様   |           |     |    |    |        |
| ●スケジュール | 令和2年11月3日 (火)   |           |     |    |    |        |
|         | 9:00 IR集合<br>10:00 実技開始<br>17:00 IR解散   |           |     |    |    |        |
| ●担当試合   | 令和2年11月3日 (火) 10:00 ~   |           |     |    |    |        |
|         | 対戦カード   | 大阪薫英女学院高校 |     |    | VS | 金光藤蔭高校 |
|         | 主審  | CC        | 太田氏 | U1 | 木村 | U2 重松氏 |
|         | 講師／主任   | 黒岡 和哲様    |     |    |    |        |
| 自己の感想   | <p>今回、自分の中で課題として取り組んだのは、リードでのスイッチのタイミングや位置取りをどのように行うかという点です。特に今回はセンターレーンの中でのボールのやり取りが多く、スイッチするタイミングがゲーム開始直後は掴めずにいました。徐々にゲームに慣れてくるとテンポよくスイッチができましたが、このタイミングをつかむことができるだけ早く行えるようにならなければいけないと感じました。</p> <p>また、個人的な反省としては、判定する際の自身の見せ方がまだまだ工夫が足りないと感じました。特に判定がグレーなものや自分が自身が持てないものが見せ方にそのまま出ているので、まずは自分が焦らないこと、一息ついたのちの見せ方、など自分のメンタルを保つ方法も検討していく必要があると感じました。</p> <p>ゲームとしては、点差が大きくなったゲームであったので、難しい判定が多くあったわけではありませんが、トラベリングの判定が難しく感じました。クルーとしてゲームの流れを捉えつつオビアスなもの判定を行うこと、クロックなどのオフィシャルの管理などは協力して行えたかと思えます。エリアではプライマリーですが、角度でのフォローなどもお互いがフォローし合えたことが今回のゲームでよかった点と考えております。</p> |           |     |    |    |        |

## 2020年度 第1回ステップアップ自己研修会 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

|         |  |   |        |    |        |        |        |
|---------|--|---|--------|----|--------|--------|--------|
| ●大会名    | 第73回 大阪高等学校バスケットボール選手権大会   |   |        |    |        |        |        |
| ●日程     | 令和2年11月3日 (祝)  |   |        |    |        |        |        |
| ●会場     | 東和薬品 RACTABドーム   |   |        |    |        |        |        |
| ●講師     | 大阪府審判委員会インストラクター部  |   |        |    |        |        |        |
| ●スケジュール | 令和2年11月3日 (祝)  |   |        |    |        |        |        |
|         | 11:40 PGC<br>13:05 Court in<br>13:20 実技講習開始  |   |        |    |        |        |        |
| ●担当試合   | 令和2年11月3日 (祝) 13:20 ~  |   |        |    |        |        |        |
|         | 対戦カード  | 大商学園高校  |        |    | VS     | 大阪学院高校 |        |
|         | 主審   | CC  | 大倉哲也 氏 | U1 | 森山裕介 氏 | U2     | 田中孝史   |
|         | 講師／主任  | 高野 晃平 様   |        |    |        |        | 湯浅 剛 様 |
|         | 講評   | 全体的にトラベリングの判定が出来ていない。(レイトミート)<br>ハンドチェックをもっと簡単に判定していれば、もう少しゲーム自体が落ち着いていた。<br>難しいケースを判定しているが、オビアスなものは判定していないので、両ケースを判定していると、良く判定していると思われる。 |        |    |        |        |        |
| 自己の感想   | メカニックに関して大きな崩れはなかったが、ゾーンDの時にローテーションをするかしないか迷うケースがあったので3POの特性を生かしてローテーションをした方が良かったと思う点と、C,Tポジションでのクロスステップを工夫する反省点が見つかった。<br>ファウルの判定に関してファウルとして取り上げた中にマージナルとしてノーコールとした方が良かった判定があった事と、もっとオビアスなものを取り上げないといけないと感じた判定があった。<br>また、クロック、ショットクロックをどのポジションにいたとしても確認出来る余裕を持たないといけないと感じた。<br>そして更にトラベリングの判定基準の精度を上げないといけないと感じた。特にレイトミート、ゼロステップ。<br>最後になりましたが、このコロナ渦の中で研修会を企画運営、また開催して頂きました、大阪府バスケットボール協会審判委員会の皆様、大会を運営されておりました大阪府高体連の皆様にご感謝申し上げます。有難う御座いました。 |   |        |    |        |        |        |

# 第 1 回 ス テ ッ プ ア ッ プ 自 己 研 修 会

## 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

|         |   |          |             |
|---------|---|----------|-------------|
| ●大会名    | 第73回 大阪高校バスケットボール選手権大会(ウインターカップ予選)2次予選  |          |             |
| ●日程     | 令和2年11月3日 (火)   |          |             |
| ●会場     | ラクタブドーム サブアリーナ  |          |             |
| ●講師     | 黒岡様, 高野様, 飯尾様, 湯浅様, 茅野様   |          |             |
| ●スケジュール | 令和2年11月3日 (火)   |          |             |
|         | 10:00 実技講習開始(終了後各自解散)   |          |             |
| ●担当試合   | 令和2年11月3日 (火) 13:20 ~   |          |             |
|         | 対戦カード   | 関西大学北陽高校 | VS 箕面自由学園高校 |
|         | 主審  | 主審 細見    | 副審 康村、平出    |
|         | 講師/主任   | 黒岡様      |             |
|         | 講評  |          |             |
| 自己の感想   | ゲーム序盤にプロテクト・シューターでコールすべき現象がありましたが、ショットの手を確認してホッとしてしまった瞬間の出来事でした。シューターが着地するまで最後までコネクトしなければならない場面でした。それ以降は集中して1つひとつ判定を積み重ねていけたように思います。しかし、トレイルやセンターで、リバウンドのときに1回戻ろうとする動きがあるなど、癖になってしまっている部分があったので、意識して最後までプレイにコネクトしていくよう努めます。また、どこで何を見るのかをもっと意識して、常にいい心理状態でいつでも判定できる心の準備をしていくことの重要性を改めて感じました。今回のゲームで感じたこと、気づいたことを今後の自分の伸び代として、普段の準備を含めて、次のゲームでトライします。研修会に参加させていただき、ありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。 |          |             |

# 第 1 回 ステ ッ プ ア ッ プ 自 己 研 修 会

## 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

|         |   |         |    |        |          |
|---------|---|---------|----|--------|----------|
| ●大会名    | 第73回 大阪高校バスケットボール選手権大会  |         |    |        |          |
| ●日程     | 令和2年11月3日 (火)   |         |    |        |          |
| ●会場     | 東和薬品ラクタブドーム   |         |    |        |          |
| ●講師     | 茅野 修司 様   |         |    |        |          |
| ●スケジュール | 令和2年11月3日 (火)   |         |    |        |          |
|         | 9:00 IR集合・研修会の事前確認<br>10:00 実技講習開始<br>17:00 IR解散  |         |    |        |          |
| ●担当試合   | 令和2年11月3日 (火) 15:00 ~   |         |    |        |          |
|         | 対戦カード   | 泉北高校    |    | VS     | 大阪桐蔭高校   |
|         | CC  | 堂國 和昭氏  | U1 | 杉谷 雄大氏 | U2 北野 謙悟 |
|         | 講師／主任   | 茅野 修司 様 |    |        |          |
|         | 講評  |         |    |        |          |
| 自己の感想   | ・試合の序盤にメカの崩れから、自分のニューリードになるタイミングが遅れてしまい、自分のプライマリーエリアのプレーに対して判定も遅れてしまったことから、いい判定につなげる為にもメカの理解を深める。自分の課題である「決断力」が試される場面があった。プレーを端的に捉えるのではなく、スタートからデベロップ、フィニッシュまでレフェリーできるように、ステイウィズザプレーの意識を高める必要がある。リバウンドやポストでのイリーガルなコンタクトや手に対して、ゲームのテンポセットで明確にしていけないといけない試合だった。 |         |    |        |          |

## 2020 年 度 第 1 回 ス テ ッ プ ア ッ プ 自 己 研 修 会 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

|         |                               |   |    |       |           |
|---------|-------------------------------|---|----|-------|-----------|
| ●大会名    | 令和2年度 第73回大阪高等学校バスケットボール選手権大会 |   |    |       |           |
| ●日程     | 令和2年 11月3日(火)                 |   |    |       |           |
| ●会場     | 東和薬品 RACTABドーム                |   |    |       |           |
| ●講師     | 湯浅様、黒岡様、茅野様、飯尾様、高野様           |   |    |       |           |
| ●スケジュール | 令和2年 11月3日(火)                 |   |    |       |           |
|         | 10:00 プレゲームカンファレンス            |   |    |       |           |
|         | 11:40 実技講習開始                  |   |    |       |           |
|         | 14:00 ポストゲームカンファレンス           |   |    |       |           |
|         | 15:00 各自解散                    |   |    |       |           |
| ●担当試合   | 令和2年 11月3日(土) 11:40 ~         |   |    |       |           |
|         | 対戦カード                         | 好文学園女子高等学校  |    | VS    | 星翔高等学校    |
|         | CC                            | 清瀬 未喜氏  | U1 | 廣瀬 俊之 | U2 木村 裕也氏 |
|         | 講師/主任                         | 飯尾様   |    |       |           |
|         | 講評                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・トレイルからセンターに移動する際、チェックイン・チェックアウトができていなかった。センターに入る際、リードが見ていた視野を自分が見る意識を持つこと。</li> <li>・プレゼンテーションの工夫が必要である。ファウルの判定でナイスコールの場合でもプレゼンテーションが力強くないので説得力に欠ける。また、ファウルのコールをした後のディレクションもわかりやすく示す必要がある。</li> <li>・プライマリー、セカンダリーの意識を持って判定すること。自身のプライマリーのエリアでプライマリーの意識を持っていないときがある。</li> <li>・ゲームクロックが動いていない場面があった。第4クォーターの残り2分を切ってからシュートが入ったときに、タイマーが動いていたのを止めて訂正したのはよかったが、それ以前にタイマーが動いていない場面を見過ごしていた。クルーでタイマーを管理する意識を持つこと。</li> </ul>  |    |       |           |
|         | 自己の感想                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・テンポセッティングとしてゲームの序盤に連続してファウルがコールでき、プレイヤーに基準を示すことができた。</li> <li>・必要な場面でプレイヤーとコミュニケーションをとることを心がけ、実践することができた。</li> <li>・プライマリーの意識を持っていない場面があり、自身のプライマリーでファウルの判定ができていない場面があった。自身のプライマリーなのかそうではないのかについて理解と意識を持って判定する必要がある。</li> <li>・ゲームクロックが動いていない場面があった。トラブルにならないようにゲームクロックを管理する意識を持つこと、TOとのコミュニケーションを心がけ円滑にゲームを進められるようにしたい。</li> <li>・キックボールの判定をした際、キックボールだということがプレイヤーやベンチにすぐに伝わらなかった。バイオレーションに限らずファウルの判定も含めてわかりやすいジェスチャーをすること、声を使って明確に伝えることでプレイヤーやベンチ、ギャラリーの誰から見てもわかるプレゼンテーションを実践していきたい。</li> </ul> |    |       |           |

## 第73回大阪高校バスケットボール選手権大会(ウインターカップ予選)2次予選 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

|         |  |   |       |    |          |         |
|---------|--|---|-------|----|----------|---------|
| ●大会名    | 第73回大阪高校バスケットボール選手権大会(ウインターカップ予選)2次予選  |   |       |    |          |         |
| ●日程     | 令和2年11月3日 (火)  |   |       |    |          |         |
| ●会場     | 東和薬品RACTABドーム サブアリーナ   |   |       |    |          |         |
| ●講師     | 茅野様・湯浅様・黒岡様・飯尾様・高野様  |   |       |    |          |         |
| ●スケジュール | 令和2年11月3日 (火)  |   |       |    |          |         |
|         | 9:00 IR集合・研修会の事前確認   |   |       |    |          |         |
|         | 10:00 実技講習開始   |   |       |    |          |         |
|         | 16:30 実技講習終了<br>17:00 IR解散   |   |       |    |          |         |
| ●担当試合   | 令和2年11月3日 (火) 10:00 ~  |   |       |    |          |         |
|         | 対戦カード  | 薫英女学院高等学校   |       | VS | 金光藤蔭高等学校 |         |
|         | 主審   | CC  | 太田令菜氏 | U1 | 木村桃子氏    | U2 重松志保 |
|         | 講師/主任  | 黒岡様   |       |    |          |         |
|         | 講評   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダブルコールになったときにマイエリアのコールならば堂々とスムーズにレポーターングに行くことが大事。少しでもノッキングをしてしまったら、せっかくのグッドコールの精度が落ちてしまう。</li> <li>・トレイルポジションの時、トップからのドライブに合わせてクロスステップを踏んでアジャストしたのはよいがポジションの位置が高いときがある。</li> <li>・ディフェンスのプレッシャーの有無によらず、トラベリングの明らかなものは確実に取り上げることが大事である。</li> </ul> |       |    |          |         |
| 自己の感想   | <p>大きなトラブルなく比較的スムーズにゲームを終えたのは共通理解共通意識の事前準備がいかされたと思います。例えば、クレー間でのアイコンタクトやヘルプ、TO管理やクロック管理を協力し合っていたことなどクレーワークのコミュニケーションをしっかりと取れていたことが良かったと考えます。</p> <p>今回から改めて意思を強く持つことの大事さや、コミュニケーションの大事さを学びました。一瞬一瞬のプレーを大切にさらにスキルアップできるように準備していこうと思えました。「こうなりたい」という思いを言葉にしてさらに意識を高く持って日々精進していきます。また、コロナ禍で大変な中ですが会場設営や運営、出場チームや役員の皆様、審判員の協力がありスムーズに試合を終えることができました。良い経験をさせていただけたことに感謝の気持ちでいっぱいです。</p> <p>ありがとうございました。</p> |   |       |    |          |         |

## 2020年度第1回ステップアップ自己研修会 参加報告書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

|         |   |   |         |    |            |    |         |  |
|---------|---|---|---------|----|------------|----|---------|--|
| ●大会名    | 第73回 大阪高校バスケットボール選手権大会(ウインターカップ予選)2次予選  |   |         |    |            |    |         |  |
| ●日程     | 令和2年9月20日 (日) ~ 令和2年11月15日 (日)  |   |         |    |            |    |         |  |
| ●会場     | 大阪府内高等学校体育館、ラクタブドーム、おおきにアリーナ舞洲  |   |         |    |            |    |         |  |
| ●講師     | 湯浅 剛 様 黒岡 和哲 様 茅野 修司 様<br>飯尾 勝紀 様 高野 晃平 様                                       |   |         |    |            |    |         |  |
| ●スケジュール | 令和2年11月3日 (火)<br>9:00 IR集合・研修会の事前確認<br>10:00 実技講習開始<br>13:00 実技開始<br>17:00 IR解散 |   |         |    |            |    |         |  |
| ●担当試合   | 平成28年1月1日 (金) 13:00 ~   |   |         |    |            |    |         |  |
|         | 対戦カード   | 大商学園高等学校  |         | VS | 大阪学院大学高等学校 |    |         |  |
|         | クレー   | CC  | 大倉 哲也 氏 | U1 | 森山 裕介      | U2 | 田中 孝史 氏 |  |
|         | 講師／主任   | 湯浅 剛 様 高野 晃平 様  |         |    |            |    |         |  |
|         | 講評  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・判定の統一性<br/>このゲームにおいては、取り上げているファールと取り上げていないファールがあり、もっと笛を入れていいゲームであった。</li> <li>・プレゼンテーションの向上(森山個人)<br/>プレゼンテーションの練習をする必要がある。</li> <li>・トラベリングを取り上げる<br/>今、全体的にトラベリングをしっかり取り上げるような動きになっており、今回のゲームでもそのケースがあった。明らかなトラベリングについては、そのプレーの状況に関係なく、取り上げる方がよい。</li> </ul>  |         |    |            |    |         |  |
|         | 自己の感想   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・PGCで、ゲームの流れを切ることないよう、オビアスなものやマージナルなものをしっかりと見極めようと確認し、その事を意識しながらレフリングすることができた。ただし、それが正しい判定につながったというよりは、取り上げるべきファールを取ることができていない場面もあった。特に、ルーズボールの末に起こるようなプレーヤーが絡み合った場面などでは、判定しきれていないケースがあった。</li> <li>・メカでは、ポジションに入るのが少し遅く、特にターンオーバー直後に判定の必要があったときに対応しきれていないことがある。また、スイッチサイドが足りていないと感じた。もっとタイミングよく動く必要があった。</li> <li>・ご指摘いただいたように、もっとプレゼンテーションを高める必要がある。まずは、正確に出すこと、そして分かりやすく示すこと、また、見ている人に説得力を与えるための表現方法や間の取り方などを高めていきたい</li> </ul> |         |    |            |    |         |  |

## 2020 年 度 第 1 回 ス テ ッ プ ア ッ プ 自 己 研 修 会 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

|         |  |  |                |      |        |
|---------|--|--|----------------|------|--------|
| ●大会名    | 第73回 大阪高校バスケットボール選手権大会(ウインターカップ予選)2次予選   |  |                |      |        |
| ●日程     | 令和2年 11月3日(火・祝)  |  |                |      |        |
| ●会場     | ラクタブドーム サブアリーナ   |  |                |      |        |
| ●講師     | 大阪府審判委員会 インストラクター部   |  |                |      |        |
| ●スケジュール | 令和2年 11月3日(火・祝)  |  | ラクタブドーム サブアリーナ |      |        |
|         | 開講式なし 各自割当時間に合わせ集合<br>閉講式なし 適宜解散   |  |                |      |        |
| ●担当試合   | 令和2年 11月3日(火・祝) 11:40 ~  |  |                |      |        |
|         | 対戦カード  | 好文学園女子高等学校   |                | VS   | 星翔高等学校 |
|         | CC   | 清瀬 氏   | U1             | 廣瀬 氏 | U2 木村  |
|         | 講師／主任  | 飯尾 勝紀様   |                |      |        |
|         | 講評   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・クロック管理の徹底<br/>ショットクロック、バックコート8秒、常にマジックタイムを把握しておくこと。<br/>何かトラブルがあったときはそのことにすぐに気づくこと。<br/>今回はトラブルに気づいて訂正もできたが、気づくまでに時間がかかり、不適切なタイミングでプレーを中断させてしまった。</li> <li>・センターポジションにいるときの視野の取り方<br/>まだボールが気になってしまっている。<br/>自分が見るべきプレーに集中する。</li> <li>・ゲームをコントロールするための判定<br/>誰が見ても当たり前のものに関しては笛を入れられている。<br/>ゲームをコントロールするために押さえておくべきプレーに対し<br/>笛を入れられるようにゲームフローを感じとる。</li> <li>・コートでの存在感<br/>まずはプレゼンテーション。声を有効に使う。</li> </ul> |                |      |        |
| 自己の感想   | <p>期間があいた中での3POでの割当でしたが、メカの部分で大きな崩れはなく、その点は自信になりました。クロック管理の部分で、適切な処置ができずバタバタしてしまったのは反省点です。講師の方からご指摘いただいたゲームフローの感じ方については、最近自身でも課題であると感じていた点でした。様々なカテゴリーやレベルのゲームを見て、また、自身でも数多くのゲームを担当して、バスケット観をみがいしていきたいです。</p> <p>最後になりましたが、コロナ禍で厳しい状況にもかかわらず研修会を開催して下さった関係者の皆様に感謝申し上げます。</p> |  |                |      |        |